

ポピュラー音楽を好きで長年聴いている（クラシックも好きだ）。好きな楽曲やミュージシャンは数知れないが、社会人になってからは、新しい音楽を耳にする機会が格段に減った。働くようになると、そうした境遇の人は少なくないかもしれない。だから今も昔の曲ばかりを聴いている（最近の歌を気に入ることも多い）。

学生だった頃、伝記のたぐいの音楽関係の本を手にとると、その音楽家がどこで生まれ、どんな音楽を聴き、どんな環境でどんなことを考えて育ったのか、音楽にどう向き合い、悩みやつらいことを乗り越えて、どんな喜びを味わい、音楽以外のことにはどんな態度で接してきたのか。そんなことを知ることができた。

素晴らしい音楽家でも、人には良い面や、そうでないところがあり、あまり褒められたものではないと感じたこともあった。いまは検索すれば、さまざまな人についてたちどころにより多くの情報を得られるだろう。

「ドラムを叩くために生まれてきたと感じさせるような演奏」。ある本のそんな一節を覚えている。鬼気迫る魂のこもったようなドラミングをそう表現したのだろう。そういえば、歌うために生まれてきたと思わせるほどに表現力のある優れた歌手、歌姫という言葉からはそんな意味を感じる。

HAKUMON Chuoの取材で、学生から話を聞いていると、「いま取り組んでいることが本当に好きなんだな」と感じさせられることが少なくない。「これに打ち込むために生まれてきた」と思わせるような学生も本当にいる。そんなときは、表情を見て、言葉を受け止めて、まぶしさを覚えてしまう。「元気をくれてありがとう」と伝えたい。

（編集長 北村 豊）

【訂正】2025年7月発行「HAKUMON Chuo」夏号の「カーリング競技で団体5位 ハルビン冬季アジア大会」の記事中、見出しの「選手団の『騎手』の大役」、本文の「選手団の騎手に抜てき」とあるのは、「選手団の『旗手』の大役」「選手団の旗手に抜てき」の誤りでした。おわびして訂正します。

【STAFF】

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、学友会、経理研究所、委員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：倉塚凜々子（国際経営4）、小保方愛香（法4）、高橋璃々（経済4）、合志瑠夏（経済4）、酒井優実（商4）、吉田未来（理工4）、三浦菜々花（国際経営4）、鈴木萌結（国際経営4）、北村結（総合政策4）、小西結音（総合政策4）、上原希成（国際情報4）、金岡千聖（商3）、池田さくら（文3）、高橋来佳（文3）、木村結（法3）、渡邊弘将（国際経営3）、小林莉子（国際情報3）、松岡響紀（経済2）、伊橋佳七（経済2）、西桃香（経済2）、渡木彩文（文2）、九十歩胡春（文2）、荒田智海（文2）＝順不同

■制作協力：株式会社トリッド



NEXT ISSUE 「HAKUMON Chuo」2026 早春号
No.288 2026年3月23日発行予定

2025 秋冬号 No.287

2025（令和7）年11月27日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか？

Would you be a student reporter?



（申し込み・問い合わせ）
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail: hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

「HAKUMON Chuo」は
中大生が取材・編集する大学広報誌です。
現在、学部在学学生を対象に学生記者を募集しています。

メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です！

メリット
2

取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。

メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見＝2023年10月26日、多摩キャンパス